

## ■オレンジネットワーク構想について

開学以来126年の歴史と伝統を誇る「法政大学」には、約39万人の卒業生（住所判明者20万5000人）、3万人の在校生とその父母、および退職者を含めると約2200人の専任教職員がいます。

この「法政大学」という大きなコミュニティに属する人々が、強固な協力関係や支援関係を形成すれば、社会的に大きなパワーを発揮できます。こうした「法政パワー」を総結集するために、「オレンジネットワーク構想」を2006年度より始動させました。

さらに、構想を円滑に実現するために2006年4月より「オレンジネット校友課」を事務局として新設し、「リーディング・ユニバーシティ-法政」基金を積極的に展開しています。さらに「法政オレンジCAMPUSカード」の発行、ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）「法政オレンジコミュニティ」の構築、「法政フェア」等イベントの開催および卒業生名簿（DB）の整備に取り組んでおり、今後もその内容の充実を図っていく予定です。

また、2006年度に「法政フェア」を広島と札幌の2ヶ所で開催し、多くの受験生やその父母の参加および周辺の校友をはじめとした関係者から好評をいただきました。2007年度は内容をさらに充実し、東京と福岡で開催する予定です。

## ■「リーディング・ユニバーシティ-法政」基金

21世紀の大学として燦然と輝き続ける未来を構築するため、本学では特色ある高度な教育や研究をはじめ、優れた資質を持つ学生たちの勉学やボランティア、スポーツ等の多様な活動を積極的に支援し、さらには、これら諸活動の拠点やインフラとしての戦略的ネットワーク組織および各種施設の整備などに取り組んでまいります。

これら諸事業の実現のため、現在「リーディング・ユニバーシティ-法政」基金活動を積極的に展開しております。

本基金活動は、目標を2006年1月から5年間で25億円（単年度目標5億円）とし、寄付金を原資として次の事業を運営してまいります。

- I 教育とキャリア・クリエーション
- II 専門職大学院の拡充
- III 先端的研究
- IV スポーツ振興
- V 付属中高と大学との一貫教育
- VI 冠奨学金など

2006年度末現在、約5億5千万円のお申込をいただき、4億2千万円を超えるご寄付を頂戴いたしました。これを受け、奨学事業として新たな基金の設置やスポーツ振興のための事業などを展開してまいりました。

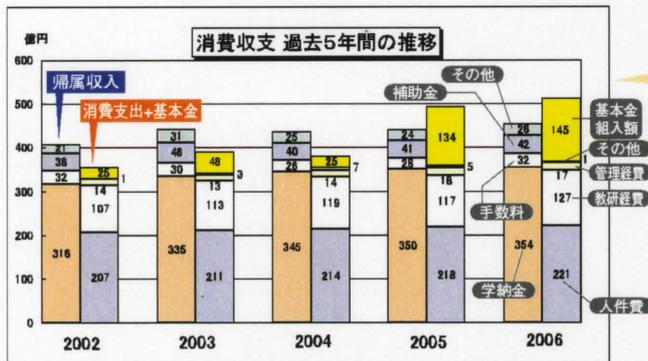
また、「法政大学第一中・高等学校創立70周年記念」基金活動も行っております。本活動は、2006年2月から2011年3月まで、5億円を目標とし活動中であり、2006年度末では、約2千6百万円のお申込とほぼ同額のご寄付もいただいております。

両事業ともまだ途についたばかりでございますが、卒業生、在学生およびその御父母、教職員の皆様始め関係各位のご理解、ご支援を今後ともお願い申し上げます。

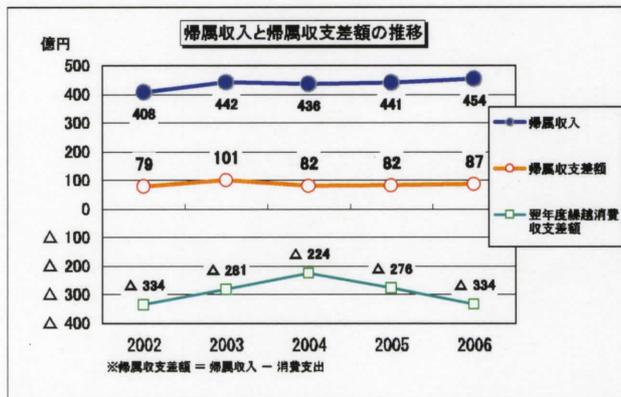
以上

当期の決算について、その概況をご報告いたします。

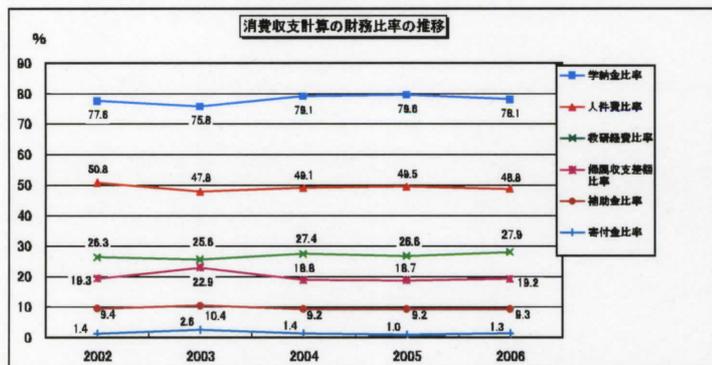
## 消費収支の推移



志願者数の増などにより帰属収入が増加しました。また、中学高等学校の新校舎建設工事相当額、奨学基金などにより基本金組入額が増加しました。



志願者数の増などにより帰属収支差額比率は19.2%と、本学が目標としている10%を上回りました。



(注) 比率は、各々の帰属収入に対する割合を示している

## 財務の概要

### (1) 資金収支計算

資金収支計算について、予算と決算の対比による主な内容をご報告いたします。

#### 資金収支総括表

(収入の部) (単位：百万円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	35,022	35,412	△ 389
手数料収入	2,268	3,153	△ 885
寄付金収入	412	461	△ 49
補助金収入	3,210	4,228	△ 1,018
資産運用収入	537	723	△ 186
資産売却収入	3,000	3,500	△ 500
事業収入	427	293	134
雑収入	708	970	△ 262
借入金等収入	9,001	4,001	5,000
受金収入	7,721	12,637	△ 4,917
その他の収入	8,574	11,564	△ 2,990
資金収入調整勘定	△ 8,415	△ 11,406	2,991
当年度資金収入合計	62,465	65,535	△ 3,070
前年度繰越支払資金	10,424	8,965	
収入の部合計	72,889	74,500	△ 1,611

大学部の志願者数が見込みを上回りました。

国庫および地方公共団体からの補助金の収入が見込みを上回りました。

有価証券の売却を予定より増額しました。

建設事業の一部延期などにより、借入金を減額しました。

大学部の入学手続きが見込みを上回りました。また、中学高等学校校地売却代金の一部が入金となりました。

教学改革引当特定資産の取崩し、および退職給与引当特定資産からの繰入収入が予算を上回りました。

#### (支出の部)

科目	予算	決算	差異
人件費支出	23,655	22,804	851
教育研究経費支出	9,678	9,261	418
管理経費支出	1,447	1,447	0
借入金等利息支出	181	112	69
借入金等返済支出	4,900	5,400	△ 500
施設関係支出	15,764	11,631	4,133
設備関係支出	2,594	1,847	747
資産運用支出	3,496	11,357	△ 7,861
その他の支出	863	1,592	△ 729
[予備費]	(167) 533	—	533
資金支出調整勘定	△ 801	△ 2,221	1,420
当年度資金支出合計	62,310	63,229	△ 919
次年度繰越支払資金	10,579	11,271	△ 692
支出の部合計	72,889	74,500	△ 1,611

年金への繰入が当初計画を下回りました。

次期情報システム開発が延期となったことなどにより、見込みを下回りました。

建設事業の一部が延期となったため、見込みを下回りました。

有価証券の購入を行ったことによります。

過年度の未払金の支払が見込みを上回りました。

当年度資金収支差額	155	2,306	△ 2,151
-----------	-----	-------	---------

(注1) 上記の表の金額は百万円未満を四捨五入しているため、合計など数値が計算上一致しない場合がある。なお、以下の表についても同様である。

(注2) 予算額は、予備費充当後の金額である。

## 資金収支計算の中の経常的収支計算

(単位:百万円)

	予 算	構成率(%)	決 算	構成率(%)	差 異	
(A) 経常的収入	総額	35,022	35,412		△ 389	
	(△) 教育充実費	△ 7,349	△ 7,461		113	
	学生生徒等納付金収入	27,674	79.1%	27,951	74.4%	△ 277
	手数料収入	2,268	6.5%	3,153	8.4%	△ 885
	総額	412		461		△ 49
	(△) 特定資金のための寄付金	△ 130		△ 99		△ 30
	寄付金収入	282	0.8%	362	1.0%	△ 80
	総額	3,210		4,228		△ 1,018
	(△) 研究設備補助金他	△ 107		△ 101		△ 5
	補助金収入	3,104	8.9%	4,127	11.0%	△ 1,023
資産運用収入	537	1.5%	723	1.9%	△ 186	
事業収入	427	1.2%	293	0.8%	134	
雑収入	708	2.0%	970	2.6%	△ 262	
計	34,999	100.0%	37,577	100.0%	△ 2,578	
(B) 経常的支出	総額	23,655	22,804		851	
	(△) 退職金支出	△ 1,004	△ 1,430		426	
	退職資産への繰入支出	1,644	1,644		0	
	人件費支出	24,295	69.4%	23,018	61.3%	1,277
	総額	9,678		9,261		418
	(△) 建設事業に係わる経費	△ 568		△ 387		△ 181
	教育研究経費支出	9,110	26.0%	8,874	23.6%	236
	総額	1,447		1,447		0
	(△) 建設事業に係わる経費	△ 26		△ 48		21
	管理経費支出	1,420	4.1%	1,399	3.7%	21
借入金等利息支出	181	0.5%	112	0.3%	69	
計	35,006	100.0%	33,402	88.9%	1,604	
(C) (A - B) 経常的収支差額	△ 7	0.0%	4,174	11.1%	△ 4,182	

(注1) 経常的支出の各構成率は、経常的収入合計に対する比率である。

(注2) 予算額は予備費充当後の金額である。

「経常的収支計算」は、本学が独自に資金収支計算のうちから、施設設備に係わる収支などを除き、経常的収支に関する部分を抽出して作成したものです。

手数料収入および補助金収入が見込みを上回ったこと、人件費および教育研究経費が見込みを下回ったことなどにより、経常的収支差額は予算を4,182百万円上回る収入超過となりました。また、経常的収支差額比率（経常的収支差額の経常的収入合計に対する比率）は11.1%と、予算を11.1ポイント上回りました。

## (2) 消費収支計算

消費収支計算について、その主な内容をご報告いたします。

### 消費収支総括表

(消費収入の部) (単位：百万円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	35,022	35,412	△ 389
手数料	2,268	3,153	△ 885
寄付金	412	578	△ 167
補助金	3,210	4,228	△ 1,018
資産運用収入	537	723	△ 186
事業収入	427	293	134
雑収入	708	970	△ 262
帰属収入合計	42,584	45,356	△ 2,772
基本金組入額合計	△ 13,987	△ 14,478	491
消費収入の部合計	28,597	30,879	△ 2,282

(消費支出の部)

科目	予算	決算	差異
人件費	22,929	22,123	806
教育研究経費	13,053	12,672	381
(内減価償却額)	( 3,375)	( 3,409)	(△ 34)
管理経費	1,700	1,706	△ 6
(内減価償却額)	( 253)	( 258)	(△ 5)
借入金等利息	181	112	69
資産処分差額	0	20	△ 20
徴収不能額	0	1	△ 1
[予備費]	(167) 233	—	233
消費支出の部合計	38,096	36,633	1,463

帰属収支差額	4,488	8,723	△ 4,235
帰属収支差額比率	10.5%	19.2%	—
当年度消費支出超過額	9,499	5,754	
前年度繰越消費支出超過額	32,415	27,599	
翌年度繰越消費支出超過額	41,914	33,353	

(注1)

帰属収支差額=帰属収入-消費支出

(注2)

帰属収支差額比率=帰属収支差額÷帰属収入×100

(注3)

予算額は、予備費充当後の金額である。

